

中村やすひろ通信



ロシアのウクライナ侵攻は、多くの尊い人命を残酷にも奪い去る暴挙であり、どのような理屈をこねようと、断じて許されるものではありません。悲惨な戦争をこの世からなくすためには、「生命尊厳」の政治思想が、あらゆる社会に根付いていくことが必要です。犠牲になった人々の鎮魂と、一日も早く戦争が終結し、ウクライナの人々に安穩が訪れることを祈らずにはいられません。

令和4年5月 中村 康弘

軍の即時撤退とウクライナの人々の支援を！

ロシアのウクライナ侵略に抗議する区議会決議を採択

3月3日、杉並区議会は『ロシア連邦によるウクライナ侵略に対し断固抗議する決議』を採択しました。同決議は、「世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願う気持ち」を表し、そのことを「次の世代に引き渡していく決意」を示すとともに、ロシアに対し、「軍の即時撤退と国際法の遵守」を強く求めています。

避難ワンストップ相談窓口を開設

杉並区では戦禍を逃れて区内に避難するウクライナの方々が安心して生活できるよう、本人や家族、支援者等を対象とした相談窓口を設置しました。ウクライナ語、ロシア語、英語での対応が可能です。【相談：03-3312-9415】



財政の「見える化」を推進 ～“今”と“未来”を見据えた財政運営～

「福祉の増進」のためには、健全な財政の裏づけが必要です。私は、議会で一貫して財政の「見える化」を進め、「健全な財政＝福祉の増進」を確保するしくみの構築に努めてきました。

杉並区では、①財政調整基金、②施設整備基金、③区債の発行、④コストと税収の関係、⑤借金と財源の関係を管理し、わかりやすく「見える化」する5つの指標に基づく財政運営を行っています。左のイメージ図の通り、区財政

を多角的（単年度の収支均衡・中長期的な財政の健全性、現金主義・発生主義）に捉えています。

例えば、計画的に財政調整基金の積立を行ってきたことで（私はこれを『財政のダム』と呼んでいます）、今般のコロナ禍において、区は財政のダムから合計95億円を緊急的に支出し、機動的な対策を講じることができました。【①】

また、長期的に大きな財政負担が予測されるのは、学校や体育施設等区立施設の更新であり、区の推計では今後40年間で改築・改修等に約4840億円が必要とされています。

そうした先々の財政需要に備えて、毎年定期的に施設整備基金に積み立てることで、安定した施設の整備が可能となります。【②】

【イメージ図】



★図表 3-11 今後40年間の改築・改修等経費試算



食品ロスの削減を! MOTTAINAI

日本では、年間600万トンもの食品ロスが発生しています。これを日本人1人当たりで換算すると約47キロとなり、毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てているのと同じ量になります。

食品ロスの削減は、議員立法で食品ロス削減推進法が成立したことにより、国を挙げての取組となりました。杉並区では、基準年の平成27年度の食品ロスの実績(3387トン)から令和12年度までに50%以上削減することをめざしています。

【杉並区一般廃棄物処理計画より】	平成27年度 (基準値)	令和元年度 (実績)	令和12年度 (目標)
杉並区の食品ロス(トン)	3387	2482	1600



区では『フードドライブ』の窓口を設け、提供を受けた家庭での未利用食品を福祉団体や施設などに寄附をする活動を行っています。

受付窓口一覧

- ごみ減量対策課(区役所西棟7階)
- 環境活動推進センター4階
- 杉並清掃事務所
- 杉並清掃事務所万南支所
- 杉並清掃事務所高円寺車庫
- 阿佐谷地域区民センター
- 井草地域区民センター
- 永福和泉地域区民センター
- 荻窪地域区民センター
- 高円寺地域区民センター(セシオン杉並)

※施設改修工事に伴い令和3年4月1日～令和5年4月まで休止予定

- 高井戸地域区民センター
- 西荻地域区民センター

※各施設の受付状況等は変更になる場合があります。ご確認の上お持ちください。

食品の条件

- ☐未開封で、包装・外観が破損していないもの
- ☐びん詰でないもの
- ☐冷蔵・冷凍が必要でないもの
- ☐賞味期限が2か月以上あり、
明記されているもの(賞味期限未明記のもの)
- ☐商品説明に日本語の表記があるもの



受付対象食品

- ☐国産米(産米から2年以内であることがわかるもの)
- ☐インスタント食品、レトルト食品、フリーズドライ食品
(インスタントラーメン・カップ麺・カレー・味噌汁など)
- ☐かんづめ
- ☐乾物・乾麺(海苔・乾豆・干ししいたけ・パスタ・冷凍うどんなど)
- ☐即席(中華鍋・お鍋・ホットカーボットなど)
- ☐調味料(食塩・しょう油・味噌・醤油・酢など)
- ☐菓子
- ☐飲料(アルコール類は除く)
- ☐乳児用食品(粉ミルク・母乳代用品など)



【杉並区フードドライブパンフレットより】



その他、区では食べきりレシビ等を活用した広報や環境学習、「食べのこし0(ゼロ)応援店」の普及など、食品ロス削減に向けた様々な取組を進めています。

杉並区は、新たな環境基本計画の中で「2050年ゼロカーボンシティ」をめざすことを宣言しました。国連のSDGs(持続可能な開発目標)の目標年次と同じ2030年までの計画期間であり、地球温暖化対策等の世界の動きと連動しながら、環境にやさしいまちづくりを進めます。

PROFILE 《プロフィール》

中村 康弘 (なかむら やすひろ) 昭和41年12月14日生まれ 55歳

【略歴】和歌山市出身。創価大学法学部卒・米サンダーバート国際経営大学院国際経営学修士(MBA)。専門商社海外営業(シンガポール駐在含む)、外資系電子部品メーカー製造部長を経て、平成19年4月より杉並区議会議員(現在4期目)。

発行: 杉並区議会議員 中村康弘
TEL: (03)3312-2831(区議会控室)

